

ひろば大代

NO.221

大代公民館

大代幼小P合同同和教育研修会

大代小学校長 布野伸一郎

毎年行っております標記研修会が去る十一月七日(金)に開催されました。ビデオ映画「紫陽花のころ」の視聴後、二グループに分かれ研修を致しました。そのビデオを見て感じたことを少しお話しいたします。

登場人物の中の父と息子の言動や考え方が実によく似ていました。

多分ことさらに教えてはいないと思うのですが、似ているのです。それがいいことならいいのですが、悪いことが似ているのです。普段の何気ない言葉、仕草から知らず知らずのうちに伝えられているのだと思います。

反面、娘さんは、因習や噂などにとらわれず、また理不尽な攻撃にも負けず、ものの本質を見ることが出来るすばらしい娘さんです。やっぱり、家族や周りの人たちの言葉や仕草から学び

取ったものだと思います。家庭教育の大事さを思い、我が家を振り返り自分の今までを反省。

噂や因習にとらわれずものの本質を見ることのできる能力、理不尽な攻撃を跳ね返す力を育てることと同時に優しい思いを持った人間を育てることに一層の努力をしなければいけないと思つた次第です。

最近読んだ雑誌の中の記事に考えさせられた会話ががありました。紹介します。

子「幼稚園でおもちつきやった時、かわいそうになっちゃった。」

母「どうしてかわいそうになったの?」

子「おもちって、お米をぼうでぶつてつくるでしょ」

母「ええ、餅米というお米をふかしてうすに入れてきねでつくのよ」

子「つくことって、とつてもいっぱいドンドンドンそのほうでぶつくとじゃない」

母「……」

子「おかあさん、お米がぶたれて、うすのなかでなくて、そのなみだがまざつておもちになつたんでしょ」

母「……」

子「あたし、お米のないたおもち、おしょうゆとのりつけてたべちゃつたの。とつてもかわいそうなことしちゃつたわ」

思いやりのある、優しい心が伝わつてお母さんが言葉に詰まっている様子が分かりますね。こんな時、おほんとおね。でもお餅は、みんながおいしいおいしいという今度はうれしい涙になるんじゃないの?と共感しておくことが大切です。

文化祭特集

文化祭に併せ健康展を開催して

大田市健康長寿課

大代町担当保健婦 清水宣子



大代の町ってこんな人が多かつたんだ。改めてびっくりしました。さすが町をあげての文化祭だと感心しました。

たくさんの人に会って、健康についての関心を持っていただく場として昭和六十二年から各町を巡回して文化祭に併せての健康展を開催しています。

今年はずいぶん半分を過ぎたところで、

健康展は市の保健事業を担当している者が地区に出かけていき顔合わせの場としています。今回は施設、地域の看護職の団体である看護協会大田地区会の協力もあり、高齢化に向けて家庭介護の相談や介護用品の展示コーナーも設けることができました。

前日の準備を合わせると、延べ三十二人の関係者が大代町の健康展に出かけたことになっています。

健康、体力チェックコーナーでは公民館の自動血圧計の使い方や、減多に計ることのできない体内脂肪の測定でにぎわいました。当日、健康展会場に来られた方は二八〇人余りでした。

一人一人の方に充分結果についての説明や、相談ができなかつたかと思いますが、市役所の健康長寿課の方へ電話でも、おいでになってもらいたいのでご相談ください。

健康展に参加したスタッフは、「大代の文化祭って町の人全部が手作りの歌や、踊り、お芝居の発表をされて本当にすばらしい。」町を上げての全

員参加の文化祭だね。一等等々、地区の結束のすばらしさに感じ入っていました。来年からは会場が小学校の新校舎になるそうですが、建物は新しくなっても昔からの文化は継承していつて欲しいなと思います。

最後になりましたが、文化祭実行委員の各関係者の方には大変お世話になりました。感謝いたします。



盛会裏に終わった文化祭

婦人会副会長 柿丸寿枝

前日途降り続いた雨もすっかり上がり、最高の日和に恵まれて大代町高山の里文化祭が開催されました。各部会それぞれに趣向を凝らしての展示、出し物に敬服しました。

今年は「みて得するあなたのための健康づくり」をテーマに大田市健康長寿課が健康展を催され、沢山の町民の方々が健康体力チェック等を受けられ大好評でした。

又私達婦人部会も各支部がこぞって一年間の総仕上げとも思われる様な、布や毛糸を使つての手芸、牛乳パック

の再利用等素敵な作品に目を見張るばかりでした。

大代中学校よりバトンタッチされたバザーも今年で三回目。その係にあたる人達は少しでも美味しいものをもと懸命に努力して居りますが、何回携わっても難しい事で反省ばかりの有り様です。野菜の展示即売でもその出来ばえをゆっくりご覧下さつてお買上頂きましたこと嬉しい限りです。

この様に私達婦人部が展示やバザーと活動出来ますのも、御忙しい中、前日から会場の設営に当たつて下さった公民館運営委員、各自治会長様の格別のお力添えがあつての事と有り難く思つております。

大代町は過疎の町と言われますが、文化祭に集つた大勢の町民の皆様、あの芸能発表に多彩な演出、多数の出演者、それ等を見る時、大代町民のパワーの素晴らしさを思わずにはいられませんでした。力を合わせれば何でも出来る底力をまざまざと見せられた思いで一杯です。

文化祭が盛会裏に終わった事、そして皆々様の多大な御協力あつてのこと

と深く感謝いたします。

小春日や集ふ町民文化祭

文化祭の芸能大会に出演して

山田 畑 誠

秋の農作業も終わり大江高山の紅葉も一段と進み、木枯らしの吹く季節になってきた。

今年も大代町の文化祭が十一月十六日の日曜日、公民館を主会場として盛大に開催された。この文化祭の最大イベントである芸能大会に今回初めて参加することとなった。

出演者は組別で山田、本郷、弓久、右原の自治会の精鋭達が総出演するもので大代の四季」と題した寸劇は、本郷の和田さんによって脚本化され配役を決めるだけとなっていた。

自分が白鳥役と聞いて「え！何で俺が？」と大変な驚きと、恥ずかしさで一瞬言葉が出なかった。しかし、みんなの配役や劇に対する取り組み、情熱に対し開き直るしかないと思った。季節の移り変わり、そこに登場する人物などをユーモラスに仕上げた演出は、

テンポの良いすばらしいストーリーに仕上がっている。

リハーサルに入ると色々な意見が出され、登場する人物の出るタイミング振り付け、ピアノとの音合わせとクンケンガクガクカッひいては衣装製作までにおよび、だんだん力が入ってくる。「この劇の最後のトリは白鳥だよ」とみんなから言われ一層プレッシャーがかかる。

当日は前日からの雨も上がり天気は良好、文化祭は大賑わい。一方楽屋裏では下キドキしながらメイクの準備、衣装の着付け、そして最後の音合わせ振り付けと大忙し。

「いよいよ出演、我が白組の出演が始まった。もうやるしかない」と心に決めステージに上がった。客席から湧き起こる大きな拍手と笑いに包まれ、本番はみんなの息がびったりと合い、テンポの良い劇はとてスムーズに流れ、あつと言う間に終わった。

そして一段とおおきな拍手を受けた後、張りつめていた気持ちも抜けて、安堵感でいっぱいになり、何かすがすがしい気分になった。

過疎化、高齢化が進む中、大代町民が楽しみにしている文化祭の芸能大会に出演し、喜んでもらえたことに感謝したい。そしてこの劇のように素晴らしい大代の四季が続くことを願いたい。

ふるさと会雑感

柿田 横手新治郎



今年六月に開かれた関西高山会の総会に続いて東京石見高山会の総会に出席させてもらった。

八日午後六時三十分発のバス東京直行便「すさのお」に乗り込んだ。土曜日とあってほぼ満席、空朝予定より三十分早く六時に着いたが、人通りも少なく静かであった。同級生二人に連絡していたので七時に迎えに来てくれ、久しぶりに懐かしい思い出話を花を咲かせた。中学生時代に造林した大谷林の木は、そしてあの人、あそこはどうなっているかとふる里への思いは今も変わっていない。高山会には二人とも都合で出席出来なかったのが残念であった。

高山会総会の会場「島根イン青山」には例によって懐かしい顔があふれていた。確かに見覚えはあるが何処の誰だか思い出せない方、又名前を聞いても思い出せない方も数名あった。

今年の参加者は三十数名と減少傾向にある事を心配しておられる田中会長との挨拶。お世話をされる方が一番心配される事である。

十月始めの「山陰中央新報」に隣の温泉津町のふる里会が東京で開催された時の様子を、作家の難波利三さんが書かれていたが、四つの町で百五十名位、単純に一町に換算すると四十名位となり、この高山会も見劣りする参加数ではないと思われる。肝心な事は継続することであり、この会の十三回はりっぱであり、次の節目に向かって更に意義ある会へと発展するために会員の理解と協力が必要である。

事務局長の松本さんは会員百数十名へ案内文書を発送されているが、出欠の返事が全くない方も相当数あるとのこと、どの会でも同じだがせめて返事だけは出すようにしたい。

懇親会ではテーブル毎にカラオケ大

会。さすがに東京育ちの方は度胸もよし、声もよし、上手な方ばかり、中でも八十才を過ぎておられる岡本さんの声量、リズム感等抜群でNHKの番組に出られても熱演賞もので驚いた。元気であれば来年もこの会に出席したいとの事。腹の底から声を出すことは健康の秘訣、又現代病の予防にもなるようである。

三時の閉会で帰りのバス時間まで散策させて頂いた。

東京での十四時間で、日本発の生情報を見聞出来、大変良い気分でした。着いた。

都市とふる里を結ぶ三つの高山会に一人でも多く参加して情報交換をすることが過疎化に歯止めのかからない大代町にあって、町民の心の過疎化への歯止めとしたいと感じたふる里会であった。

「書き初め大会への作品募集」

お正月に公民館で書き初めの展示会を致します。題材と様式は自由でどんなでも出品出来ますので振るってご応募下さい。

提出締切日 一月十六日(金)
 展示日 一月十九日～二月十日

 * 十二月の行事予定

◆1日(月) 福祉委員会

◆2日(火) 編集委員会

◆3日(水) お正月料理教室

◆7日(日) 福祉弁当

◆22日(月) 連合自治会

平成十年一月行事予定

◆1日(木) 元旦マラソン

朝六時～集合場所石清水八幡宮前

◆1日(木) 新年挨拶交換会

午前十時～公民館にて

会費 二百円(当日)

皆さんの参加をお待ちしております。

★——★おしらせ★——★

◎社協大代支部より

先日文化祭に於てご協力頂きました共同募金街頭募金は総額一万九千七百五十九円でした。厚くお礼申し上げます。

